



連載 岡垣町 町制施行 60周年記念

まちの“軌跡”をたどる

今年の10月に町制施行60周年を迎える岡垣町。これにあわせて広報おかがきでは、まちが歩んできた歴史を3号連続で紹介していきます。今月号は、連載第2弾です。

問い合わせ 企画政策室

まちの歴史を振り返る

― 昭和63年～平成24年 ―

下の年表では、岡垣町の町制施行26年目～50年目にあった主なできごとを紹介していきます。

昭和63年には、海老津駅の新しい駅舎と駅前広場が誕生。そして平成の時代を迎え、岡垣サンリーアイやいこの里、こども未来館、情報プラザ人の駅など、現在も皆さんに広く親しまれている施

設が、数多く完成しました。

また、平成7年には住民の皆さんの参画による「岡垣町イメージづくり計画」を策定。これによって、今ではお馴染みとなった町のシンボルマークのほか、キャッチフレーズが「海がめもかえる町」に決まりました。

そして平成9年には人口が3万人を超え、町制施行当時の約2倍に。このほか、平成16年には遠賀郡4町の合併に関する住民投票が行われるなど、岡垣町にとって激動の時代だったといえます。

来月号では、町制施行51年目～60年目のできごとを振り返るとともに、60周年の節目を飾る巻頭特集の掲載を予定しています。

昭和63年12月	平成元年7月	2年7月	3年4月	10月	5年7月	6年6月	10月	7年3月	9年3月	11月	11年3月	12年6月	14年5月	15年3月	16年3月	5月	
●海老津駅の新駅舎・駅前広場が完成	●波津地区で第1回納涼花火大会を開催	●国道3号岡垣バイパス開通	●岡垣町浄化センターが完成	●まつり岡垣&商工祭を開催	●岡垣サンリーアイ開館	●三里松原ウミガメ調査開始	●「同和对策事業終結に関する合意」成立	●町のシンボルマーク・キャッチフレーズ決定	●いこの里落成	●人口が3万人を超える	●町の鳥を「カワセミ」に決定	●岡垣サンリーアイのウエーブアリーナ開館	●高倉びわが100周年を迎え、記念事業実施	●町のイメージソング「変わらない岡垣」完成	●海老津駅に快速電車が停車	●情報プラザ人の駅落成	●こども未来館開館

▼九州最古級の鉄道遺跡である九州鉄道・海老津赤レンガアーチ



▼完成当時の岡垣サンリーアイ（平成5年）



◀アカウミガメは、町のキャッチフレーズ「海がめもかえる町」の由来となっている





▲平成 11 年に町の鳥に指定されたカワセミ。体長は 17cm 程度と小柄な鳥で、町内の川沿いなどで見ることができる



ワンポイント

知っていますか？

町の「シンボルマーク」

町内の各所や町公式ホームページで見られるシンボルマーク。「岡垣らしさ」を生かした町のイメージアップを図るため、平成 7 年に行政と住民が協同で策定した「岡垣町イメージづくり計画」で生まれたものです。

マークは 3 色で構成されていて、三里松原の「緑」、響灘の「青」、中心の「赤」は人々の温かい交流を意味しています。

ちなみに、右のマークはシンボルマークではなく「町章」。昭和 46 年に、町内外からの公募によって決まりました。



岡垣町イメージキャラクター

♥ ひわりん & ひわすけ ★

▲応募作品 171 点からイメージキャラクターに選ばれた「ひわりん & ひわすけ」。町の PR のために町内外のイベントに出演し、多くの人に愛されている



本格焼酎「岡垣」の原料となるサツマイモの苗植え作業には、多くの住民がボランティアとして参加▼



9月	24年7月	22年2月	20年5月	8月	19年5月	6月	18年4月	17年4月	9月
●町制50周年記念式典・アトラクションを開催	●町のイメージキャラクターを「ひわりん & ひわすけ」に決定	●海老津駅開業100周年	●「4校区(内浦・吉木・海老津・戸切)コミュニティ運営協議会」活動開始	●本格焼酎「岡垣」完成	●岡垣源水「大地の水」提供開始	●モデル校区「山田校区」コミュニティ運営協議会「活動開始	●波津海岸が「快水浴場100選」に選ばれる	●九州鉄道・海老津赤レンガアーチを町の有形文化財に指定	●「遠賀郡合併」について町民に意志を問う住民投票」を実施

【お詫びと訂正】広報おかがぎ8月号に掲載した「まちの“軌跡”をたどる」で紹介した、町制 60 周年記念事業の名称に一部誤りがありました。訂正してお詫びします。

■7ページ 正：第 19 回ウォーキング大会・マラソン大会 誤：第9回ウォーキング大会・マラソン大会

PICK UP!

第1回まつり岡垣 平成3年

毎年10月の第3日曜日に催している、町最大のイベント「まつり岡垣」。今年で第29回を迎えるまつりの興りは、約30年前にさかのぼります。

第1回のまつり岡垣は、平成2年に行われた「おかがき夏まつり」をさらに盛り上げようという趣旨のもと「まつり岡垣&商工祭」の名称で、平成3年10月27日に町民総合グラウンドで催されました。

ちなみに、当時の広報おかがきのお知らせ記事では「リッチでビッグなイベント満載」と紹介。プログラムには仮装大会や鯉のつかみどり大会、のど自慢大会、きき酒大会など、近年は行っていない珍しい催しものも満載だったようです。

しかし、町内外の団体によるパレードや餅まき、フィナーレに行われる全員参加の総踊りなどの恒例行事は現代になっても健在。時代は違えど「まつり岡垣」は、多くの参加者でにぎわう大人気のイベントであるといえます。



広報

おかがき

平成16年
8月10日
No.675

一緒に考えたい このまちの未来を。

岡垣町

住民投票

9月5日

遠賀郡4町合併に関する岡垣町住民説明会を開催します

8月16日(月)から27日(金)午後7時

遠賀郡4町合併に関する住民投票を実施します

9月5日(日)午前7時から午後6時



PICK UP!

遠賀郡4町の合併に関する住民投票 平成16年

平成15年7月に「遠賀郡4町合併協議会」が設立され、約1年をかけて岡垣町・芦屋町・遠賀町・水巻町の合併に向けた協議が進められました。

岡垣サンリーアイや町立公民館などで行われた住民説明会を経て、まちの将来を決める住民投票が平成16年9月5日に行われました。投票結果は有効票13,218票のうち反対7,617票、賛成5,601票の反対多数となり、合併には至りませんでした。

ちなみに、平成11年から政府が主導して行った市町村合併は「平成の大合併」と呼ばれています。県内でも遠賀郡をはじめ、多くの地域で合併に関する議論が盛んに行われました。当時新たに生まれた自治体は、近隣では福津市や宮若市、福智町など。合併推進運動が一区切り付いた平成22年には、県内の自治体の数が約3分の2まで減少しました。

◀当時の広報おかがき(平成16年8月10日号)

60周年記念ロゴ完成

町制施行60周年を記念するロゴが完成しました。記念ロゴは、今年度中に町が催すイベントや事業などで活用されます。

ロゴのデザインは「ドーンデザイン研究所」の代表取締役を務める工業デザイナー、水戸岡鋭治さんによるもの。水戸岡さんは、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」



リンクラブ岡垣

のほか、今年5月、波津海岸に完成した自転車道休憩施設「リンクラブ岡垣」のデザインも手掛けられています。デザインに込めた思いを、ご本人に伺いました。



◀水戸岡さんのデザインによる60周年記念ロゴ

4つの「和」が生み出す 地域社会への豊かなつながり

岡垣町は、北斗七星を美しく眺められる地として有名であるとのこと。奇しくも、私がデザインしたクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」にも連なるイメージから、7つの星をデザインに採用しました。

ロゴ全体の構成としては、町制施行60周年の「60」というアラビア数字の上に7つの星を冠し、全体を4つの輪で囲みました。4つの輪——すなわち4つの「和」とは、「人の和」「事の和」「物の和」「心の和」のことです。「これらのどの小さな和からでも、より大きな地域社会への豊かなつながりが始まる・始められる」という願いを込めてデザインしました。

ドーンデザイン研究所 代表取締役 **水戸岡 鋭治** さん



**「岡垣町」と「60」に
まつわる写真を掲載中**

町制施行60周年を迎える10月1日に向け、皆さんからの投稿写真を、町公式ホームページに日替わりで掲載しています。

皆さんの知り合いなども登場しているかもしれません。ぜひチェックしてみてください。



覚えていますか、10年前の「キモチ」。

「未来への手紙」を発送します

町制50周年記念事業「未来に語り継ごう」の一環として、未来の自分や家族、友人に宛てた「未来への手紙」を住民の皆さんから募集し、町で10年間保管しています。

今年の10月で町制施行60周年を迎えるにあたって、保管していた手紙を郵送します。平成25年1月以降に、差出人や受取人の住所・氏名に変更があった場合は、9月22日(木)までにメールやファクス、郵送で届け出てください。なお、ご家族からの届出も受け付けています。詳しくは、町公式ホームページを見てください。

届出先 企画政策室「未来への手紙」係

